

第 68 回 大阪市廃棄物減量等推進審議会 会議要旨

1 日 時 令和 5 年 10 月 5 日（木）14 時 00 分から 16 時 01 分まで

2 場 所 大阪市環境局 第 1、第 2 会議室

3 出席者

（委員）

水谷会長、嶋津副会長、石村委員*、柴田委員、清水委員、永田委員、中谷委員*
早川委員、原委員*、福光委員*、松本委員*

※ウェブ会議の方法による参加（5 名）

（大阪市）

堀井環境局長、山本環境局理事兼エネルギー政策室長、川島事業部長、
上原家庭ごみ減量課長、吉村事業管理課長、東岡一般廃棄物指導課長、川戸企画課長
小玉家庭ごみ減量課長代理（司会）

（大阪広域環境施設組合）

青野事務局長*、金子施設部長

※ウェブ会議の方法による参加（1 名）

4 議 題

- ・令和 4 年度のごみ処理量について
- ・更なるごみ減量の推進について
- ・その他

5 議事要旨

（1） 大阪市から、「令和 4 年度のごみ量」、「ごみ減量の進捗状況」、「令和 5 年度のごみ量（速報値）」、「これまでの取組状況」についての報告と、検討事項として「更なるごみ減量の推進」について説明があった。

（2） 委員からの意見等概要

ア リチウムイオン電池等の拠点回収について、回収場所をもう少し分かりやすくしたほうがよい。

イ 大規模事業所への対策については、立入検査の指導の効果と経年変化の両方を見て、引き続き効果的な対応をしてほしい。

ウ プラスチック使用製品廃棄物の収集対象をプラスチック 100%のものとするのは分かりやすいが、合成ゴム製品など判断が難しいものもあり、高齢者も含め市民への分かりやすい周知方法を十分検討し、行き渡るまで根気よく周知する必要がある。

エ 事業系の食品ロス対策については、インバウンドへの啓発も必要なので、インバウンドの受入側となる飲食店や宿泊施設への啓発も大阪市と一緒に協力させていただく。

オ 現行計画の目標達成やその先も見据え、社会的な要件も含めどのような情報提供がごみ減量の行動変容を起こすのか、長期的な視点も持って検討していく必要がある。

(3) 大阪市の意見概要

プラスチック一括回収の対象品目について、市民に分かりやすい基準の示し方など、周知啓発方法を検討していく。

現行計画の目標達成に向け、現状のごみ減量施策を着実に進めるとともに、将来目標については、ごみ減量による社会への影響等を踏まえ、審議会でもご議論いただきながら策定に取り組む。

6 会議資料

第 68 回大阪市廃棄物減量等推進審議会資料